

月 日 ()

6年 組 名前

社会⑦ 「横浜に港ができたお話」～だいすき横浜市歌～

昔

横浜村・・・人も少なく、米を作ったり、魚をとったりして暮らしていた。

およそ 170年前

アメリカの大きくて黒い船がやってきた。・・・1854年 ペリー来航
<アメリカ> 「これから日本と仲良くなりたいたので、港を開いてほしい。」

※これまで、日本は他の国と関わる事がほとんどなかった。

<日本> 1年間考えた末・・・

「これからは、他の国ともお付き合いをしよう。」

※横浜に港ができたことで、・・・

→外国から多くの人や物がやってきたことで、横浜はにぎやかになり、外国から多くのものが伝わってきた。

例えば・・・食べ物 (パン・牛鍋)。蒸気機関車が初めて走った地。レンガでできた洋式の家。

ラグビーやテニスなどが初めて行われた。

Q1 他にどんなものがあるでしょうか? ～横浜はじめてものがたり～

Q2 象の鼻地区の変遷を見てみると、開港当時の波止場は、まっすぐに伸びた2本の突堤でした。

明治になり、東側の突堤が弓なり(その形が象の鼻に似ていることから、象の鼻地区と呼ばれるようになったそうです。)に作り直したのはどうしてでしょうか。(わたしたちの横浜 P50～を読んで答えましょう。)

Q3 森 林太郎(鷗外)作詞の横浜市歌に込められた港への思いはどのようなものだったのでしょうか。

※昔…とまやのけむり→今…百船 百千船の部分をやさしい言葉に直しながら書いてみましょう。